

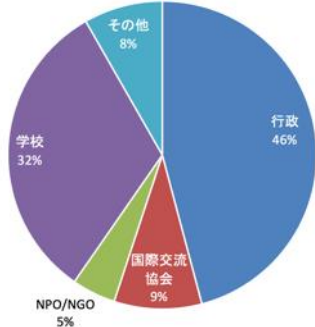
研修・コンサルティング事業

各地での多文化共生への基礎理解や、テーマ別に具体的な実践事例の紹介、今後の取組みについて考える場づくり等をサポートする。



【主な講演テーマ】

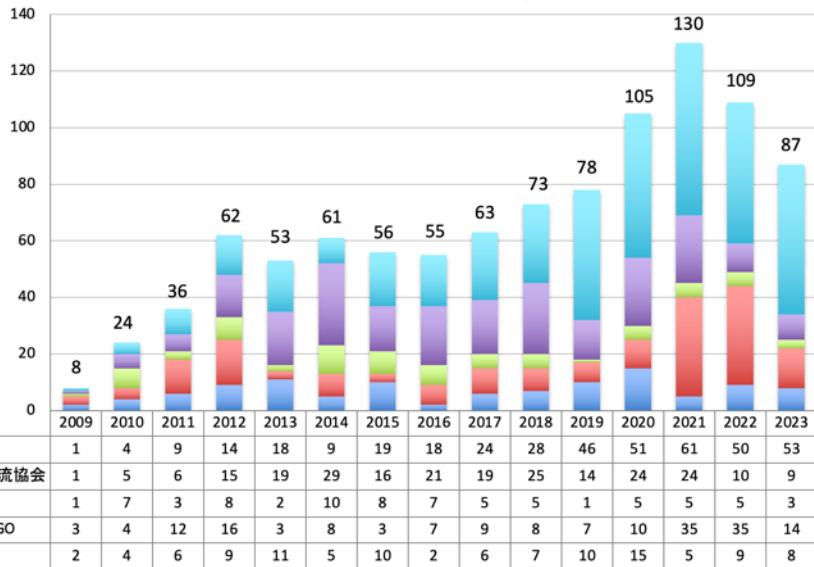
- ・多文化共生概論
- ・やさしい日本語
- ・災害時対応
- ・地域日本語教育
- ・外国人と人権
- ・発達障害支援



【実績】

87件

- 行政 53件
- 国際交流協会 9件
- 学校 3件
- NPO/NGO 14件
- その他 8件



【参加者の声】

多文化共生は、外国人支援や人手不足の穴埋めではなく、地域づくりと考えて推進することが重要だと学びました。

行政として住民として受け入れる体制づくりは重要であると認識しました。

外国人受け入れに対して、肯定的に捉えることができるようになった。

昨年度に増して対面での研修開催が増えてきて、コロナ前の状態に近づいてきました。受講者の反応を直に感じながら、充実した時間を過ごせることをとても嬉しく思います。また、約半数が自治体からのご依頼ということで、コロナ禍以降の外国人の急増による意識の変化が伺えます。一方で、各種会議への出席依頼も増えたため、収益的には難しい状態になっています。今後は研修講師等の担い手を増やしていきたいと思っています。



土井佳彦

在日ブラジル学校における キャリア形成に向けた 日本語教育広域連携プロジェクト

ブラジル学校における日本語教育の
充実をはかるとともに、他校とノウ
ハウの共有を試みる。(文化庁委託事業)



【事業内容】

1. 卒業後のキャリア形成に向けた日本語教育プログラム

→期間:10/1~12/31(3か月)、時間:60時間、対象:中・高校生11名

2. 在日ブラジル学校と地域社会とのネットワーク構築プロジェクト

→外国人雇用企業との意見交換、オンラインシンポジウム2回

3. 在日ブラジル学校における日本語教育担当者との共同実践研究

→Escola Nectar(豊田市), EAS碧南校, HIRO学園(大垣市), サンタナ学園(愛荘町)

①対面 4回、②オンライン 3回



愛知県豊田市にあるブラジル学校「エスコラ・ネクター」における日本語教育のお手伝いを初めて3年目になります。今年度も文化庁からの委託を受け、プロの日本語教師を派遣し、毎週4コマ以上の日本語教育とキャリア教育を実施しました。さらに、今年度は愛知県と滋賀県にある3つのブラジル学校との連携により、授業見学と意見交換会を開催しました。それぞれに事情は異なりますが、抱えている課題に共通点も多く、今後もさまざまな情報やノウハウを共有していく契機になったと思います。



土井佳彦

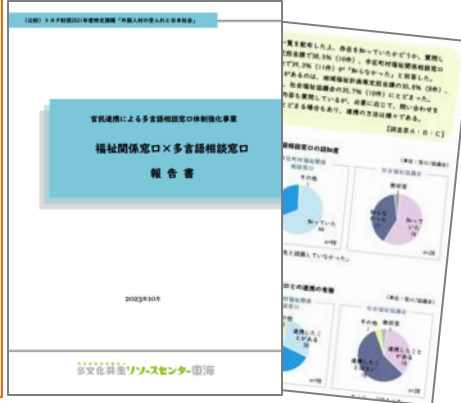
官民連携による多言語 相談窓口体制強化事業

県内の多言語相談体制の強化を目的に、行政や国際交流協会、NPO等との連携強化や人材育成を行う。(トヨタ財団助成事業)



【期間】
2022年5月1日～2024年4月30日(2か年)

- 【内容】**
1. 相談窓口の相談員を対象にした研修の実態調査の実施
→ 自治体の福祉担当課・社会福祉協議会等にアンケート調査を実施
 2. 初任者相談員向けの研修カリキュラム及び教材の開発と研修の実施
→ 中国語版、ネパール語版、タガログ語版を追加
 3. 段階的な研修プログラム体系の構築
→ ①オンデマンド研修、②オンライン研修、③対面研修を開催
 4. 成果報告会の実施



- 【各研修受講者人数】**
- オンライン研修
2022年度：多言語35名、福祉 8名
2023年度：多言語21名、福祉49名
 - 対面研修
2022年度：多言語14名、福祉 6名
2023年度：多言語23名、福祉30名

【研修受講者の感想】
対面で必要な知識を前もって動画で確認し、オンラインで講師より説明があり、対面で実践という流れが良かったです。大変勉強になりました。



今年度は福祉分野との連携をテーマに実態調査と合同研修を実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、福祉窓口にとっても外国人住民の存在が可視化された一方で、多言語相談窓口とは必ずしも連携できていない現状が明らかとなった中、「オンデマンドーオンラインー対面」という流れを基軸に実施した、多言語相談員と福祉関係相談員の合同研修は、とても有意義でした。多言語相談窓口の役割を再認識するきっかけにもなったと思います。

外国人コミュニティ サポート事業

東海地域で活動する外国人コミュニティ等による活動をサポートする。



【主な支援先】

NPO法人日本ウクライナ文化協会
→避難者等への生活物資提供等

NPO法人希望の光(ブラジル)
→助成金申請、ネットワーク強化

ELCC 国際子ども学校(フィリピン)
→25周年記念イベント開催、政策提言

愛知県ベトナム人協会
→交流イベント開催



国際子ども学校 (ELCC) 25周年記念ワークショップ

みんなで考える
外国につながる子どもたちの未来
～多文化共生社会の実現を求めて～

同じ地域で暮らす外国人住民のこと、外国につながる子どもたちのこと、そして「子どもの人権」のことを、ともに学び、考えましょう。各団体も、お話を聞いたあと、ワークショップ形式で理解を深めます。

全3回 14:00～16:30

第1回 9/10 (日)	外国人労働者が生み出される 国際的状況と在日外国人の状況	
第2回 10/29 (日)	外国につながる児童を 取りまく社会状況	3/24 (日) 【おまけ】
第3回 1/28 (日)	子どもの権利条約と人権法	多文化共生社会の 実現に向けての提言



土井佳彦

立正佼成会名古屋教会よりご推薦いただき、「一食(いちじき)を捧げる運動」の寄付先にご指定いただきました。これにより、ウクライナからの避難者に生活物資を提供することができました。関係者の皆様にご心からお礼申し上げます。また、ELCC国際子ども学校さんの創立25周年記念イベントにも携わらせていただき、私たちにとっても貴重な学びとつながりの機会をいただきました。愛知県ベトナム人協会さんは、初めてとなる大規模イベントを4開催され、大盛況となりました。こうした活動を今後もご支援していきたいと思っております。

情報発信及び ネットワーキング

多文化共生に関する情報を不特定多数の人に発信し、日常における多文化共生の認知度・理解度を高める。新型コロナ関連情報も多数。



特定非営利活動法人 **多文化共生リソースセンター東海**
国籍や文化に関係なく、みんなが安心して楽しく暮らせる社会にしたい

ホーム 団体概要 About us 活動実績 成果物等 講師派遣 会報誌 メディア掲載 サポーター募集 お問い合わせ

多文化共生
NPO法人多文化共生リソースセンター東海
多文化共生分野の中間支援NPOです。 <http://mrc-l.blogsnot.com/>
3 フォロワー 64 フォロワー
ネルソン水嶋、 柏谷遼介 他1人がフォロー中
フォロー中
毎月の活動報告
NPO法人多文化共生リソースセンター東海 38件
フォロー

ホーム 記事 マガジン スキ プロフィール 仕事依頼 月別
2024年度 日本財団助成事業
名古屋市内における官民連携の避難民支援モデルの構築
Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION
官民連携による
避難民支援から学ぶ
採用戦略と企業の国際化セミナー
9/3開催、「官民連携による 避難民支援から学ぶ 採用戦略と企業の国際化セミナー」について
当団体では今年度、日本財団より助成を受けて、「名古屋市における官民連携の避難民支援のモデル構築」...
NPO法人多文化共生リ...
2週間前
♡ 2 11
2024年6月の活動報告
2024年5月の活動報告
2024年4月の活動報告

【ホームページ】
・閲覧数 約11,000pv
【facebookページ】
・いいね！ 3,299件(+58)
・フォロワー 3,566人(+234)
・リーチ数 5,986人/月平均
【ブログ】
・投稿数 20件
・閲覧数 6,674pv



あいち・なごや
ウクライナ避難者支援ネットワーク
ホーム ネットワークについて 活動内容 資料 避難された方へ 支援したい方へ
Переселенцям з України.
ウクライナから避難された方へ
支援したい方へ
for Supporter
活動報告 Activity 一覧を見る
Recruitment
Recruitment
Recruitment
お問い合わせ



土井佳彦

昨年度以上に多くの方に、当団体から発する情報等をご覧いただけたようで嬉しく思います。それらの情報が少しでもみなさんの活動のお役に立てたら幸いです。一方で、「あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク」の発足から2年半が経ち、世間からの関心が薄まっているように感じます。しかし、そうした今だからこそ、最新の情報発信とともに、彼・彼女らの状況に寄り添った細やかな支援が必要だと思ひます。 5
当団体の活動を通じて、少しでもご関心をお寄せいただけたらと思ひます。